



加藤東一「北辺の滝」

第1展示室

# 歴博名品展

2025 12.24 WED ▷ 2026 3.1 SUN

## 岐阜市歴史博物館分館 加藤栄三・東一記念美術館

〒500-8003 岐阜市大宮町1丁目46番地(岐阜公園内)

開館時間: 午前9時—午後5時(午後4時30分までにご入館ください)

※1月17日(土)~2月1日(日)は午前9時—午後9時(入館は午後8時30分まで)

休館日: 月曜日【1月12日(月)、2月23日(月)は開館】令和7年12月28日(日)~令和8年1月3日(日)、  
令和8年1月13日(火)、2月12日(火)、2月24日(火)

観覧料: 高校生以上 310円(団体 250円)、小中学生 150円(団体 90円) ※ ( )内は20人以上の団体料金

※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、特定医療費(指定難病)受給者証又は登録者証、

小児慢性特定疾病医療受給者証又は登録者証の交付を受けている方とその介護者1人様は無料。

※岐阜市内在住の70歳以上の方は、証明書などを提示すると無料。ミライROID可

※岐阜市内の小中学生の方は無料。

※家庭の日【1月18日、2月15日】に入館する中学生以下の方と、同伴する家族(高校生以上)の方は無料。



川島正行「水滝」

第2展示室

## 川島正行 絹に描く 墨・彩・光展

2025 12.24 WED ▷ 2026 1.25 SUN



菅原光則「landscape」

第2展示室

## 第55回記念 萌土展

2026 1.27 TUE ▷ 3.1 SUN

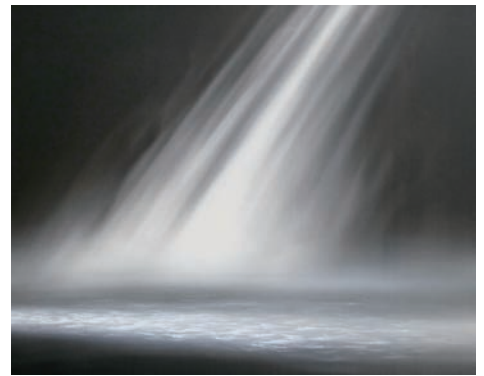
# 川島正行 絹に描く 墨・彩・光展



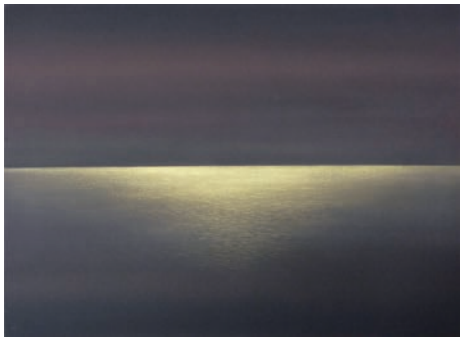
天光



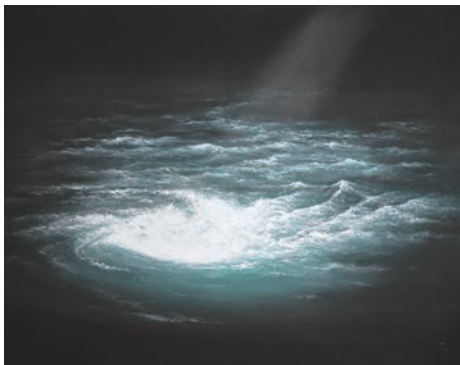
峠への道



流転の黎明



黎明



NARUTO

モノクロームは、即ち色がないと解釈されるかも知れない。だが、それは表現者の力量次第であるということが、この魅力的で独創的な「大気」を見ればよく分かるだろう。主題の「水」は作品を一杯に満たしている。最初に火山のようにも見える泡沫が目飛び込んでくる。それらが蒸気の一団を解き放つ。蒸気は大気の中で薄まり、ほとんど触れようと思わせるような、燃えるような「湿気の葉」に滲み込んで行く。“L'eau vague”という題名にも関わらず、ひとつの同じ創造次元のなかで、「水」と「炎」が相互作用しているようだ。「白燃する溶岩」或は「地球の臍腑の猛火のなか」を思わせる題名によって、そのテーマも巧みに証明されている。KAWASHIMA Masayukiは証明する。本質的なモチーフは、世界の「流動」であり、地球が内部に秘める力である。それが融解と水墨によって見事に翻訳されている。このアーティストはモノクロームの持つ叙述力を最大限に引き出している。彼の作品はおそろしいまでの美の世界を提案する。何故ならそこでは、平面という次元を突き破る「瘻學的(不可抗的)」表現が、かくも我々の心を捕えるからだ。

ノエル・コレ

芸術評論家  
国際美術鑑定家  
サロン・ドートヌ会長  
サロン・ドートヌ・インターナショナル会長

## 川島正行 画歴

- 1954年 高山市生まれ
  - 1987年 連展金賞・国際美術審議会ポルトガル展受賞  
中国展・ドイツ展出品
  - 1994年 第五回臥龍椽日本画大賞展
  - 2001年 フランスサンディエ市賞上げ
  - 2002年 バリ 画廊ピスコンティにてレ・タブロー展
  - 2013年 サロン・ドートヌ出品(パリ)
  - 2014年 サロン・ドートヌ出品(パリ)
  - 2015年 サロン・ドートヌ出品(パリ)  
パリ国際サロン(作家推薦)
  - 2016年 サロン・ドートヌ出品(パリ)  
日本フランス現代美術世界展(作家推薦)  
銀座美の起源展奨励賞
  - 2017年 サロン・ドートヌ出品(パリ)、京都個展
  - 2018年 サロン・ドートヌ出品(パリ)、京都個展
  - 2019年 サロン・ドートヌ出品(パリ)  
京都個展、ノリタケの森ギャラリー名古屋個展
  - 2020年 サロン・ドートヌ出品(パリ)  
パリ国際サロン出品(作家推薦)  
21回日本・フランス現代美術世界展  
新エコールドパリ浮世絵賞  
2021年NEPU代表作家に選出
  - 2021年 サロン・ドートヌ出品(パリ)  
台日芸術博覧会2021採華賞  
スペイン美術賞展 招待出品  
22回 日本フランス現代美術世界展
- 日本国際美術家協会会員

## 第2展示室

# 第55回記念 萌土展

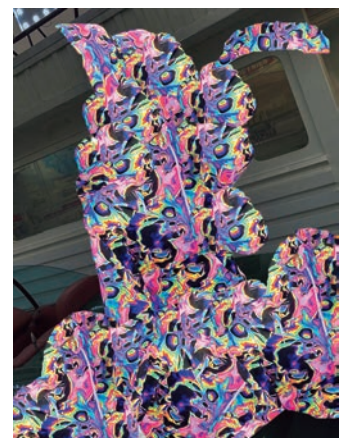
絵画、彫刻など、それぞれ異なるジャンルの芸術家12名によって構成された美術家集団「萌土社」の55回記念展覧会です。本展では、各ジャンルで活躍するメンバーが、それぞれの視点で表現した作品を通じて、岐阜の現代美術に挑む作家たちを紹介いたします。



中村淳子「シリーズ木の氣 24-E」



長縄等士「ビーマン」



野々村益男「与えられた色彩No.6」

【出品者】 家田陽介 澤田昌子 菅原光則 辻 和子 中村淳子 長縄等士  
野々村益男 林 リウイチ 降旗一成 古山米子 堀江良一 三宅敦子

## 岐阜市歴史博物館分館 加藤栄三・東一記念美術館

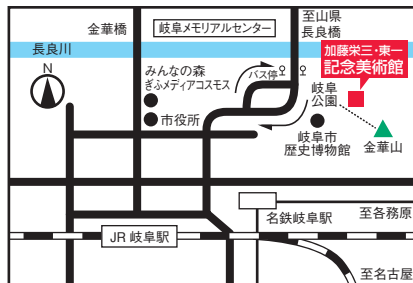
〒500-8003 岐阜市大宮町1丁目46番地(岐阜公園内)

交通案内 JR岐阜駅・名鉄岐阜駅前から、長良橋方面行きのバスにご乗車ください。  
[岐阜公園・岐阜城]で下車(所要時間約18分)  
徒歩約5分(岐阜公園内・ロープウェイ・山麓駅横)

駐車場 岐阜公園北側の堤外駐車場(有料)をご利用ください。駐車台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



ホームページ



## 第1、第2展示室

次回展予告

「黄土に馳せた想い  
日本画家 竹原城文展」

令和8年 3月4日(日)～